

平成 24 年 9 月定例会 決算特別委員会会議録（第 6 号）平成 24 年 10 月 22 日

◆佐々木茂光委員

警察業務全般にわたって、ちょっと関連で質問をさせていただきたいと思います。今回の震災発災以来、警察の方々が常に前線で指揮をとりながら、我々の住民の安全・安心のために日夜活動していただいております。そういった中で、恐らく警察の辞書には、追うという言葉はあっても逃げるといった言葉はないんだと私は思っております。私たちは常に、後ろを見ないでとにかく一目散に逃げろと教えられております。警察の方は、追う立場である方々が真っ先に逃げるといったことは恐らくないと思います。

そういった中で、第一線にいる方々は最終的にどういうところで判断をして一多くの消防を初めそういう方々が命を落としております。今回の震災でも、警察業務にかかわられた方々も多くの犠牲を出しております。そういった中で、その教訓が、これから来るであろう大災害等に対して、警察の方々の身の安全を誰がどのようにして守っていくのかを最後に聞いて、終わりにしたいと思います。

○警察本部長

ただいまの御質問というのは津波の際の対応についてだろうと思いますけれども、ただいま、警備計画の見直しの作業を進めておりまして、その部分については、時間を限って対応されるというような案を出されている消防関係のお話も聞きますけれども、今、いろいろ検討している最中のございまして、警察職員の身の安全を守りつつ、かつ避難、誘導をスムーズに、適切に行うというような方法について現在検討しているところのございまして、まだ、はっきり申し上げられるような状況にはございませんけれども、今回の震災を参考にして、よりよい方法について検討していきたいと考えております。

◆佐々木茂光委員

最高指揮官という立場で、今、本部長のほうからお話がありましたけれども、検討する、検討するといつて、皆さんも私も言っているんですけども、日常の業務に入っています。とりあえずという言葉は、果たして表現としていいか悪いかわからないんですが、ここは、こういうときにはこうだぞというような、少なくとも岩手県警察の方々には二度とそういう思いをさせたくありませんので、そういうのは強く、みずからの考えでとりあえず発するべきではないかと思うんですが、御所見がありましたら。

○委員長

申し上げます。ただいまの佐々木茂光委員の質疑は関連性がないものと認められますので、答弁を求めないこととします。御了承をお願いいたします。